

■2019-2020年度

ワイズメンズクラブ国際協会西日本区 京都部

第4回評議会議事録

■2020年6月21日(日)

■10:00~12:00

■Web(Zoom)開催

※議案の審議は書面にて受領

2020年6月18日(木)

■出席者 Web(Zoom)

※評議会構成員(以下21名)

島田部長/中村次期部長/川上直前部長/竹園監事
合田会長代理(京都)/藤松会長(パレス)/吉川会長(ウエスト)/井上会長(めいぷる)/西川会長(キャピタル)
小野会長(プリンス)/片山会長(センチュリー)/森本会長(ウイング)/大橋会長(エイブル)
森下会長(グローバル)/前会長代理(みやび)/八木会長(トップス)/村澤会長(トゥービー)
奥西会長(東稜)/田栗会長(ウェル)/坂口バネッサ会長(ZERO)/平野会長(北京都フロンティア)

・書面による議案の審議については構成員以下22名より2020年6月18日(木)付で受領

島田部長/中村次期部長/川上直前部長/竹園監事
山本会長(京都)/藤松会長(パレス)/吉川会長(ウエスト)/井上会長(めいぷる)/西川会長(キャピタル)
小野会長(プリンス)/片山会長(センチュリー)/森本会長(ウイング)/荒木会長(洛中)/大橋会長(エイブル)
森下会長(グローバル)/武本会長(みやび)/八木会長(トップス)/村澤会長(トゥービー)
奥西会長(東稜)/田栗会長(ウェル)/坂口バネッサ会長(ZERO)/平野会長(北京都フロンティア)

※答弁義務者(以下11名出席)

竹園監事/北川Yサ・ユース事業主査/香山地域奉仕・環境事業主査/山下EMC事業主査
竹山国際・交流事業主査/岩本メネット事業主査/吉田PR委員長
塚本書記/牧野書記/安平会計/角谷事務局長

※欠席者

荒木会長(洛中)

※京都YMCA

藤尾統括連絡主事

※オブザーバー

大槻信二(京都センチュリークラブ・西日本区ワイズ活動史編纂委員長)

■進行

司会・進行は塚本書記が担当。開会点鐘、ワイズソング斉唱は割愛。
藤尾統括連絡主事の開会の祈りに続いて、島田部長の部長挨拶。塚本書記による出席者確認。
審議事項については事前に承認を得ているため、定足数確認、議長の選出は行わず。
塚本書記より以下の議案の審議についての報告がなされた。

■議案協議

- ①第1号議案
第3回評議会議事録承認に関する件
※書面により全会一致で承認されました。
- ②第2号議案
2019~2020年度京都部仮決算報告の件
※書面により全会一致で承認されました。
- ③第3号議案
第4回評議会議事録承認に関する件
※書面により、21名承認、1名意思決定無しで承認されました。

■提案/報告/その他事項

- ①部長報告
一年間の活動報告と、一年間部長を務めての思いが語られた。
京都部に一任されたワイズデーの余剰金311,596円については、YMCAチャリティーランの京都新聞掲載費用に充てる予定であったが、コロナ禍で中止になったため、京都YMCAへ寄付。
- ②各事業主査・PR委員長報告
各事業主査・PR委員長より報告書に添って活動報告がなされた。
・Yサ・ユース:コロナ禍で下半期の事業はほとんどが開催中止となった。
チャリティーランは、新しい開催地嵐山東公園での開催が決定していたにもかかわらず、開催できず無念であるが、次期に良い方向でつなげていきたい。

- ・地域奉仕・環境：上半期は京都部一丸となりワイズデーを開催することができた。
下半期、CSチャリティーボウリングは中止となったが、各クラブに寄付をお願いしたところ、191,406円の寄付が集まり、京都YMCAへ献金することができた。
SDGsの取り組みについては次期にしっかりと引き継いでいきたい。
- ・EMC：上半期は39名の増員、この勢いで下半期も盛り上げていく予定であったが、下半期はコロナ禍の影響で入会者が16名、合計55名増。
一年間を通じて多くのクラブの入会式に立ち会うことができた。
目標には届かなかったが、この一年間で得た経験を活かし、メンバー増強に貢献していきたい。
- ・国際・交流：使用済み切手収集のお願い。
上半期はアジア太平洋地域大会にてDBC締結式に参加することができた。
下半期はコロナ禍の影響で交流が制限されたが、一年間を通じての経験をワイズ活動に活かしていきたい。
- ・メネット：今期より西日本区メネット報がメネット事業通信となり、メンバーにも読んでいただく機会になったと思う。
メネット事業のアンケートについては、京都部すべてのクラブから提出いただくことができた。
アンケートではメネット事業を残してほしいという声が出ていたより多かった。
メネット・女性メンバーが交流できる機会が少なかったことが少し心残りである。
- ・PR委員会：上半期のワイズデーでは、ワイズメンではなく、多くの一般の方々にワイズメンズクラブを知っていただく良い機会になったと思う。
下半期は、ワイズデーにボランティアとして参加いただいた高校生を交えてのPR委員会を予定していたが、開催できず残念である。ワイズデーを機に新聞、ラジオ等のメディアを通じて広報できたことは良かったと思う。

③各クラブ会長報告

各クラブ会長より、報告書に沿って一年間の活動報告、コロナ禍に対する取り組み、今後のクラブに対する思いなどが語られた。

④YMCA報告

- ・藤尾統括連絡主事より報告書に添っての活動報告がなされた。
6月の会員協議会が延期になる為、各クラブ会長への感謝状は郵送にて送付。
YMCAへの寄付金に対しての感謝の言葉をいただいた。

⑤その他

三役より一言ずつのコメントが述べられた。

■次期部長・直前部長コメント

- ・中村次期部長：上半期は活動を通して、かつてない京都部の勢いを感じた。
下半期はコロナ禍で行事が中止になり勢いを出し切れなかったのが残念に思う。
- ・川上直前部長：今期の京都部は行事を熟すだけでなく、準備段階の活動も素晴らしかった。

■監事講評

- ・竹園監事：各クラブの会長はじめメンバーの力がワイズデーを成功させたと思う。
同期会長の繋がりをいつまでも大事にしてほしい。

藤尾統括連絡主事の閉会の祈り、島田部長の閉会挨拶にて第4回評議会を終了した。

議事録作成者：書記 牧野